

令和3年度 第12回滋賀大学環境シンポジウム

「温暖化から琵琶湖の 生態系を考える」

日時：2021年12月4日（土）午後1:00～午後4:15
会場：滋賀大学 大津サテライトプラザ
（JR大津駅前 日本生命大津ビル4階）
：WEB参加も募集します

1. 基調講演

「びわ湖の本来のあるべき姿とは」
三田村 緒佐武さん（滋賀県立大学名誉教授）

2. 話題提供

「気候変動が琵琶湖に及ぼす影響と、
地域における自然再生の取り組み」
佐藤 祐一さん（琵琶湖環境科学研究センター専門研究員）



主催：滋賀大学「環境学習支援士」会

後援：滋賀県、滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、滋賀県地球温暖化防止活動推進センター、
特定非営利活動法人おおつ環境フォーラム

参加無料 対象：一般市民、学生、行政職員、NPO/NGO等

定員：会場参加30名（申し込み順）Web参加30名程度（新型コロナウイルス感染症の感染状況により、会場定員の変更や無観客・Web参加のみとなる場合がございます。）

申し込み締め切り：2021年11月20日

申し込み・問い合わせ：滋賀大学「環境学習支援士」会（大津市平津2-5-1 滋賀大学425号室）

電話/FAX：077-537-7821

Email: shienschikai@yahoo.co.jp

滋賀大学「環境学習支援士」会 HP

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~shienshi425/>

【プログラム】12時30分 受付開始

13時00分～13時10分	開会のあいさつ
13時10分～14時10分 10分	三田村 緒佐武さん 質疑応答
14時20分～14時30分	休憩
14時30分～15時30分 10分	佐藤 祐一さん 質疑応答
15時40分～16時10分	総合質疑とアンケート
16時10分～16時15分	閉会のあいさつ

【基調講演・話題提供者・団体紹介】

●三田村 緒佐武さん（滋賀県立大学名誉教授・滋賀大学環境学習支援士会会員）

1946年 淀川水系琵琶湖のほとりで生まれる。1972年 名古屋大学大学院博士課程中退。1997年 大阪教育大学退職。2012年 滋賀県立大学退職。2016年 滋賀大学退職。専門は陸水学と環境学。著書に「新編湖沼調査法第2版」、「水環境調査で失敗しないために」など。

●佐藤 祐一さん（琵琶湖環境科学研究センター専門研究員）

京都大学環境地球工学専攻を2003年に修了後、建設コンサルタント会社勤務を経て2006年に琵琶湖環境科学研究センターに入庁、2018年より現職。環境システム工学を専門としており、流域スケールでの水文・水質・生態系モデリングを行う傍ら、滋賀県内において多様な主体の協働による環境保全・再生事業に従事。今年度からは琵琶湖版SDGs「マザーレイクゴールズ（MLGs）」の普及推進に努めている。趣味は湖魚料理、子どもと川遊び。

【主催者紹介】滋賀大学「環境学習支援士」会

地域や学校にあって自ら先頭に立ち、適切な指導・助言を行いながら、環境教育・学習に関する実践と交流・支援を行い、県内の環境問題の解決要求に応える活動をめざしています。

【会場】滋賀大学 大津サテライトプラザ（〒520-8530）

大津市末広町1-1（JR大津駅前 日本生命大津ビル4階）

TEL//FAX 077（524）3692

JR琵琶湖線 大津駅 徒歩2分

※駐車場はありません。周辺の有料駐車場をご利用ください。公共交通機関をご利用ください。



参加申込書	FAX:0748-36-8911	Email: shienshikai@yahoo.co.jp
メールにて申し込まれる方は、下記の項目の記載をお願いします。		
お名前（ふりがな）:	申し込み日時:	
シンポジウムへの参加方法: 何れかに○をつけて下さい (会場での参加) (WEBでの参加)		
連絡先住所 (自宅・勤務先) 〒		
連絡先電話:	FAX:	Email: (WEB参加必須)